

ChatGPT を活用した授業からの一考察

津田 敏（姫路日ノ本短期大学）

近年、情報技術の進展に伴い、教育現場においても ICT の活用が進んでいます。その中でも、AI を活用した学習支援ツールの導入が注目されています。特に、OpenAI の提供する「ChatGPT」は、言語処理能力に優れ、学習支援や情報提供、個別指導において非常に有効なツールとされています。本発表では、ChatGPT を授業で活用することで得られた効果や課題を考察します。

1. ChatGPT の授業活用のねらい

ChatGPT を授業で活用する主なねらいは、学習支援、情報提供、そして個別指導の強化です。従来の授業では、教師が一方的に情報を伝えることが多いため、学生の理解度や進捗に個人差が生じやすいという課題があります。しかし、ChatGPT を活用することで、学生が疑問に思うこと等を質問し、リアルタイムで解答を得ることができるため、学習の効率化が期待されます。

さらに、学生が自分の疑問を即座に解決できる環境を提供することで、学習のモチベーションが向上し、学習への取り組みがより積極的になることが予想されます。

2. 授業における ChatGPT の活用で期待すること

(1) 学生からの質問対応

授業中に学生が理解できない内容や疑問に対して、教師が即時に個別対応するのは時間的に難しい場合があります。そこで、ChatGPT を使うことにより学生への質問に迅速に対応し、理解を深めることができます。特に、基礎的な質問や事実確認などに関しては、ChatGPT が即座に答えることで効率的に学習を進めることができます。

(2) 探究学習のサポート

探究学習においては、学生は自分で調べたり考えたりすることが求められます。ChatGPT を使ってなら情報収集を行い、アイデアの整理や論理的な思考を深めることが期待できます。また、ChatGPT に自分の考えを伝え、フィードバックを受けることができるため、思考を整理しやすくなります。

(3) 疑問解決と学びの深まり

学生が授業内容に対して持つ疑問を解決するために、ChatGPT は有効なツールです。例えば、学生がある概念や理論に対して理解が不十分な場合、ChatGPT に質問し、その解答をもとにさらに深く調べたり、別の視点から理解を深めることが可能です。これにより、学生はより深い学びを得ることができます。

3. ChatGPT 活用による効果

ChatGPT を活用した授業を行った結果、授業に向かうポジティブな姿勢が見られました。

(1) 学習効率の向上

学生は、ChatGPTにより知りたいことを即座に得ることができ、授業に対し前向きな姿勢になったようでした。学生が疑問を抱えている間に授業が進んでしまう問題が解消され、授業に臨む態度が前向きになり、結果学習効率が向上したように感じられました。

(2) 自主的な学びの促進

ChatGPTを通じて、学生の自主的な学びが促進されたように思われます。特に、疑問点をその場で解決できることが大きな助けとなったようです。探究学習では、ChatGPTが提供する情報をもとに自分の疑問点等が解決でき、自主的な学習が促進されたようでした。

(3) 学習意欲の向上

ChatGPTを使った学習が新しい学びの手段として受け入れられ、学生の学習意欲が向上したように思います。従来の授業形式では感じることのなかった興味や楽しさが増し、積極的に学習に向かう学生が増えました。ChatGPTの即答は、学習に対する前向きな態度を育む要因となったと思われます。

4. 今後の課題

一方で、ChatGPTを活用する際のいくつかの課題も見えて来ました。

(1) 基礎知識等についての個々の能力に応じたサポート

ChatGPTは、学生のそれぞれが持つ専門的な知識力、理解度に応じた適切なサポートを行うことは難しい。基礎知識等については教師の指導が重要であることが分かりました。

(2) 鵜呑みにしない指導や正しい情報、知識を確認する姿勢

ChatGPTは非常に優れたツールですが、ChatGPTによる学習支援が過度に依存され、ChatGPTの出す解答を鵜呑みにする傾向があります。教師は、鵜呑みにしない指導や正しい情報、知識を確認する姿勢を養う指導は必要であることが分かりました。

(3) 読みこなす、理解力を養う

疑いを持つことやより深めたいと思う学習は大切なことです。そのためには、鵜呑みにしないで情報を読みこなす、理解する力を養うことが大切です。ChatGPTを活用しつつ、より深めていくためには読みこなす、理解力を養う学習の取り組みの指導は必要であることが分かりました。

5. 結論

ChatGPTを授業で活用することは、学習支援や情報提供、個別指導の面で大きな効果があることは分かりました。学生は即座に疑問を解決し、学習を前に進めることができ、学習効率や自主的な学びが向上したと思われます。しかし、ChatGPTに依存しすぎないようにするための指導、ChatGPTの限界を理解した上で活用することが重要であることも分かりました。今後は、ChatGPTと教師が協力して、より効果的な学習環境を提供する方法を模索していく必要があると思いました。